

労働の未来図

新時代の労働法・労働政策の課題と展望

公益財団法人労働問題リサーチセンター（LRC）は、労働問題研究の振興に寄与することを目的に1985年に設立され、今年40周年を迎えました。

この間、労働問題に関する調査研究事業、研究助成事業、図書・論文等の表彰（冲永賞）事業等を行ってきております。

今般、設立40周年を記念して、労働問題に関する著名な研究者の方々をお招きし、「労働の未来図-新時代の労働法・労働政策の課題と展望-」をテーマに、シンポジウムを開催いたしますので、どうか奮ってご参加、ご視聴いただくようお願いいたします。

主催：公益財団法人 労働問題リサーチセンター
（会長 冲永 佳史）

後援：厚生労働省

2025
10/29 水

14:00 ▶ 16:50

開場：13:30

会場：80人
ライブ配信：300人
（いずれも無料）

シンポジウムの内容（詳細は裏面）

第1部 基調講演

第2部 シンポジウム

シンポジウムのお申込みは
会場、オンラインとも
こちらから



<https://www.rodorc.or.jp/symposium2025>



公益財団法人労働問題リサーチ
センターについての詳細はこちら ▶



労働の未来図

新時代の労働法・労働政策の課題と展望

1

基調講演

東京大学名誉教授

荒木尚志

研究テーマ：労働法

著作：『労働法（第5版）』（有斐閣）、
『注釈労働基準法・労働契約法』（編著、有斐閣）、『論点体系判例労働法（第2版）』（編著、第一法規）他



2025

10/29 水

14:00 ▶ 16:50

会場：帝京大学

霞が関キャンパス

会場、ライブ配信とも

参加 無料

※ お申込みは、表面を参照してください。

2

シンポジウム



シンポジスト **水町勇一郎**

早稲田大学法学部教授

研究テーマ：労働法の歴史と理論、
労働法の比較研究

著作：『労働法〔第10版〕』（有斐閣）、
『詳解労働法〔第4版〕』（東京大学出版会、2025年9月刊行予定）、『社会に出る前に知っておきたい「働くこと」大全』（KADOKAWA）他



シンポジスト **川口大司**

東京大学大学院経済学研究科教授

研究テーマ：労働経済学、
実証ミクロ経済学

著作：『計量経済学』（共著、有斐閣）、
『労働経済学 -- 理論と実証をつなぐ』（有斐閣）他



コーディネーター
山川隆一

明治大学法学部教授

研究テーマ：労働紛争処理、
労働政策の実現手法

著作：『労働法（第13版）』（共著、弘文堂）、
『労働紛争処理法（第2版）』（弘文堂）、
『外国人労働者に関する重要労働判例と今後の課題』（共著、第一法規）他



シンポジスト **坂爪洋美**

法政大学キャリアデザイン学部教授

研究テーマ：産業・組織心理学、
人材マネジメント

著作：『多様な人材のマネジメント』（共著、中央経済社）、
『管理職に期待される役割の変化』（産政研フォーラム：中部産政研）他



シンポジスト **首藤若菜**

立教大学経済学部教授

研究テーマ：女性労働論、
労使関係論

著作：『雇用か賃金か 日本の選択』（筑摩選書）、
『物流危機は終わらない：暮らしを支える労働のゆくえ』（岩波新書）他

似顔絵は生成AIで作成しています。